

グローバル・サウスが導く新国際経済秩序：債務再編と新ドナー調整枠組の構築
立命館アジア太平洋大学 山形辰史

要約

現代の「グローバル・サウス」はかつての「第三世界」のように新国際経済秩序を生み出す原動力となっている。既存の開発途上国の債務再編枠組であるパリ・クラブは、主に中国の債権国としての役割の拡大によって改編を迫られている。本稿では、ザンビアやスリランカの債務再編のような、中国の参加を促す債務再編の試みを何度か続けることで、パリ・クラブを拡充した新ドナー調整枠組が構築されることを予測する。

構成

1. はじめに
2. グローバル・サウスの制度的枠組み
3. グローバル・サウスは反欧米で結束するか
 3. 1 仮説の提示
 3. 2 考察：バングラデシュのケース
4. パリ・クラブをどう改編するか
 4. 1 国家債務の特殊性とパリ・クラブ
 4. 2 近年の中国のグローバル・サウスに対する融資
 4. 3 新国際経済秩序：新ドナー調整枠組の必要性
 4. 3. 1 債務再編のチャド／ザンビア・モデル（低所得国タイプ）
 4. 3. 2 債務再編のスリランカ・モデル（非低所得国タイプ）
 4. 3. 3 パリ・クラブを超えて
5. おわりに